

第33回 県下工業高校生建築設計競技大会 表彰式取材記

令和7年11月16日(日) 県立佐賀城本丸歴史館に於いて

先日の審査会を経て、各賞が決定した。本年の表彰式会場は佐賀城本丸歴史館である。今年、木になるフェスタ、ほかのイベントと一緒にの会場ではなく、単独での表彰式となった。一般の本丸歴史館の来場の、お客さんも、立ち寄っていただいて、プレス到着で始まった。



今回のテーマである【気候風土に配慮した地域の公民館】という、表現の仕方が難しい、作品の中で、県知事賞に輝いた佐賀県立唐津工業高等学校3年の宗田 強希さんの『光と風がつなぐ地域の拠点館』である。『光と風』に着眼した様々な工夫がされ、それらが断面計画に反映されている点が優れている。すべての室・廊下には複数から採光や通風が考えられ、外部と内部の関係が一つの建築として巧妙に提案されている。【審査委員長評】

佐賀県知事賞の受賞風景

佐賀県教育長賞には、同じ、唐津工業高等学校3年の川添 奈々さんの『心地よい空間～静かな流れ～』である。金賞は佐賀工業高等学校3年の藤田 昊 さんの『雨風凌ぐ心のOasis』以下の銀賞3名は、鳥栖工業高等学校3年の吉岡 柊真さんの『三つの居場所』鳥栖工業高等学校3年の小柴 ゆりさんの『Calme』、嬉野高校塩田校舎2年の池田 悠真さんの『Feel relieved』銅賞の4名は、佐賀工業高等学校3年の中野 晴人さんの『Green core』佐賀工業高等学校3年の外山 弥幸さんの『Urban Triport。』鳥栖工業高等学校3年の藤崎 玲美さんの『四季折々』鳥栖工業高等学校3年の丸山 優月さんの『光と育つ』が、えらばれた。今回、表彰者の生徒さんに「図面を手書きすることありますか」と、聞いてみたら「パソコンで図面をおこして、それを見ながら手書きにしました。」と、返事が帰ってきた。。。うーん？それって逆じゃないかなー。時代ですかね。



小島建築士会会長と
表彰者集合写真です